



19新建第508号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

福島県相馬郡新地町長 加藤 憲郎



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

| 項 目 | 理 由 |
|------------------|--|
| ① 高速道路網の早期整備 | <p>福島県の浜通り（相双地区）地方は、東京と仙台の中間に位置し気候温暖で地理的条件も良く、山あり海あり平地も多く地形的に大変恵まれた地域であります。さらに、相馬地域総合開発事業により整備された重要港湾相馬港、相馬中核工業団地があり、エネルギー源となる原子力発電所、火力発電所を抱える日本でも有数の電源地帯でもあります。</p> <p>このように産業・経済の発展に要する条件が整っているにもかかわらず、当地方が伸び悩んでいるのは、高速道路のネットワークの立ち後れが大きな原因となっていると考えられます。</p> <p>当地方の産業経済振興の発展のため、東京仙台を結ぶ常磐自動車道、相馬福島を結ぶ阿武隈東道路、福島山形を結ぶ東北中央道の整備促進が最も必要とされています。</p> |
| ② 避難・緊急輸送道路の早期整備 | <p>当地方は、海岸を抱えておりますので発生率の高まる宮城沖地震による津波や、近年頻発している異常気象による集中豪雨、台風等の自然災害時の避難道路や緊急輸送道路の早期整備が必要です。</p> |
| ③ 日常生活に必要な道路の整備 | <p>当地方のように公共交通機関の充実していない地域においては、唯一の交通手段が自家用車でありますので、通勤、通院など日常生活を支えている生活道路の整備が不可欠となっております。</p> <p>また、昨今の交通災害が多発しているなか、園児、児童、中高生や地域住民が安全で安心して通行できる歩道などの交通安全施設整備が必要です。</p> |
| ④ 老朽化した道路橋の整備 | <p>当町の道路橋は、昭和10年から50年代に多く造られ老朽化が進み、車両も大型化してきており現在の基準に適合する橋梁が殆どないのが現状であります。昨今の厳しい財政状況の中においては、なかなか改修などの整備を進めるのが難しい状況であります。</p> |

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

| 項 目 | 理 由 |
|----------------------|---|
| ①整備された道路・公共交通機関の有効活用 | <p>地方から見た都市部の道路は、十分に整備が進められてきていると感じております。真に必要な車とは何か考え、都市部に必要以上の車を入れない施策を講じ現有路線の利活用を図るべきであると思われます。</p> <p>たとえば、公共交通機関の運賃補助、最寄りの駅の駐車スペースを整備することにより車の分散を図り、多くの人々が利用しやすくすることで都市部の交通渋滞の緩和、二酸化炭素の削減に繋がると考えます。</p> |
| ②他事業との連携強化 | <p>全ての省庁及び国、県、市町村の連携強化を図ることでコスト縮減に繋がり、効率のよい事業展開ができると思われます。</p> |

(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

| 項 目 | 理 由 |
|--------------|--|
| ①都市部と地方の整備基準 | <p>整備基準は、都市部は都市部の目で地方は地方の目でみて決めなければ地方の道路整備は、ますます遅れていくと思われますので、都市部は、都市部の整備基準で、地方は、地方の整備基準で道路整備を図る必要がある。</p> <p>また、地方財政状況を鑑み補助事業の採択基準緩和を図り、補助率の向上、地方道路譲与税など道路特定財源の重点配分し、地方の道路整備を進める政策が必要である。</p> |
| ②維持管理計画の作成 | <p>高度経済成長に伴い多くの道路の整備が進められ、30年から50年が経過してきており、損傷が多く見られるようになりました。この状況をしっかりと認識し、全ての橋梁について限られた財源の中で対処する維持管理の中長期計画の作成し、財源確保に努める必要があると思われます。</p> |
| ③その他の意見 | <p>上記の状況を踏まえれば、道路特定財源を一般財源化する余裕などはないと考えられますので、道路特定財源の堅持に努め全額を道路整備費に充当しなければならないのではないかと考えます。</p> |